

読
団

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

読売日本交響楽団 第628回 名曲シリーズ
Popular Series, No. 628

2020年1月9日(木) 19時開演
サントリーホール

Thursday, 9th January 2020 19:00 / Suntory Hall

SY7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390
(10時~18時・年中無休/年末年始を除く)

<https://yomikyo.or.jp/>

ELIAS GRANDY, conductor
エリアス・グランディ (指揮)
ハイデルベルク市立劇場の音楽総監督を務め
オペラとコンサートの双方で活躍するドイツの新鋭

新春のボレロ

J.シュトラウスⅡ:
喜歌劇「こうもり」序曲

J. STRAUSS II: "Die Fledermaus" Overture

サン=サーンス:

序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28
SAINT-SAËNS: Introduction et Rondo capriccioso, op. 28

マスネ: タイスの瞑想曲

MASSENET: Méditation from "Thaïs"

サラサーテ:

ツイゴイネルワイゼン 作品20
SARASATE: Zigeunerweisen, op. 20

モーツアルト:

交響曲第35番 K.385 「ハフナー」
MOZART: Symphony No. 35 in D major, K. 385 "Haffner"

ラヴェル: ボレロ

RAVEL: Boléro

あふれる優雅さと円熟味で世界中の聴衆を魅了
常に第一線を走る“ヴァイオリン界のレジェンド”
前橋汀子 (ヴァイオリン)
TEIKO MAEHASHI, Violin





指揮=エリias・グランディ

Conductor =ELIAS GRANDY

同世代の傑出した才能として注目を浴びるドイツの新鋭。2015年、ショルティ国際指揮コンクールで第2位となり、一躍世界的な注目を集めました。12年から16年までダルムシュタット市立歌劇場のカペルマイスターを務め、現在はハイデルベルク市立劇場音楽総監督の任にある。モンテヴェルディ、モーツアルトなどから、ハース、ルジツカなど現代作品まで幅広いレパートリーを誇り、オペラとコンサートの双方で活躍。今年10月にはミネソタ・オペラでR.シュトラウス〈エレクトラ〉を振って北米デビューを飾り、2020年3月にはフランクフルト歌劇場でディーリアス〈村のロミオとジュリエット〉を振るなど、活躍の場を広げている。今回が読響初登場。

いよいよ2020年。オリンピック・イヤーの到来を告げる記念すべき、そして令和初めての年明け。いつもよりわくわくした気持ちで迎える新年には、豪華な名曲を揃えた読響の『ニューイヤー・コンサート』がおすすめです。

まずは、ヨハン・シュトラウス2世の喜歌劇「こうもり」序曲で華やかに開幕。軽快なリズムと優雅なウィンナー・ワルツの調べが、非日常への扉を開きます。

続く3つの名曲では“ヴァイオリン界のレジェンド”前橋汀子が共演します。60年近いキャリアを誇り、日本を代表

熱狂のフィナーレ！新春の《ボレロ》

特別な新年を華麗に彩るニューイヤー・コンサート

するヴァイオリニストとして常に第一線を走り続けている巨匠。あふれる気品、深い知性と精神性、なにより人生を凝縮したかのような濃密な音色が彼女の持ち味です。サン=サーンス「序奏とロンド・カブリチオーソ」は、陽気なスペイン風の曲調と異国情緒に富んだ調べが印象的。マスネ「タイスの瞑想曲」の甘美なメロディを聴けば、温かな幸福感に包まれるでしょう。誰もが一度は耳にしたことのある名曲、サラサーテの「ツィゴイネルワイゼン」では、前橋が高度な技巧を用いてヴァイオリンの華やかさを存分に引き出します。円熟の極みに達した者にしかできない、心の奥底まで強く搖さぶる演奏をお楽しみください。

後半1曲目の「ハフナー」は、モーツアルトの交響曲の中でも人気が高く、軽やかなリズム、透明感のある響き、流麗な旋律など、モーツアルトの魅力を詰め込んだ傑作です。最後はラヴェル「ボレロ」。スネアドラム(小太鼓)一人の演奏から始まり、同じリズムとメロディが何度も繰り返されます。オーケストラは音色を多彩に変化させながら徐々にエネルギーを高め、ついに興奮のフィナーレへ！心地よい高揚感の中で、演奏会は熱狂的に締めくられます。

指揮はドイツの注目株エリias・グランディ。ショルティ国際指揮コンクール第2位で注目を浴び、現在は名門ハイデルベルク市立劇場の音楽総監督を務めています。オペラとコンサートの双方で活躍している新鋭は極上の読響サウンドを引き出し、特別な年のはじまりを華やかに彩るでしょう。

ヴァイオリン=前橋汀子

Violin =TEIKO MAEHASHI

日本を代表する“ヴァイオリン界のレジェンド”。2017年に演奏活動55周年を迎え、その優雅さと円熟味あふれる演奏で多くの聴衆を魅了している。これまでにメータ、ロストロポーヴィチ、ケンペ、サヴァリッシュ、K.マズア、小澤征爾ら巨匠の指揮で、ベルリン・フィル、ロイヤル・フィル、フランス国立管、クリーヴランド管、イスラエル・フィル、スイス・ロマンド管などと共演。室内楽の分野でもデムス、エッセンバッハ、ウゴルスキら名手と共に演奏している。



©篠山紀信

読売日本交響楽団 第628回 名曲シリーズ

2020年 1月9日(木) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

・東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分・東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■ 学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■ 都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■ 未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休／年末年始を除く

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可／チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017